

この段階を直視して、日本労働組合会議は昨冬「産業労働の統制」に関する重大なる建議を政府へ要請し、我々の産業労働の極端を明記する共に従来主張せる産業協力の案を争うことと努め九州地方協議會も亦この大方針に沿つて全口協運動の一翼を積極的に参加した。然るにインフレの巨利は従つて資本家階級に独占され、労働階級はインフレの余惠は皆無であつた。労働健全金は最近漸騰してはいるがこれは一重に労働階級の家庭生活とその他の健康を益す犠牲に依つた労働健全金は最近漸騰してはいるがこれにインフレに依る物價の暴騰も相俟つて却つて労働階級の生活水準を激減してゐる。而して資本家階級は所謂非常時と名を藉りて之を逆用し更に労働階級の労働性や強制的な労働態度を不作為の言ひまをせんとする。産業協力の態度を見れば彼等自らいふ産業平和産業協力の精神の上から實現されるものである。然るに今日資本家階級の態度を見れば彼等自らいふ産業平和産業協力の精神を疎離してつゝあるは甚だ遺憾である。わが本會も資本の排外小配小作事には労働階級に正當なる團結と組織の自由を許さず起固する。労働階級の健全なる組織の協力を俟つて非ずれば断つて眞の「家産業の健全なる發展」平和は招来し得べきことを断言し、我等は飽くまで「家産業の立場から労働階級の團結確認を要求する」。

九州地方協議會は日本労働組合會議第三回年度大會決議を如く「策として我々の産業と労働を統制する基準と實現する地方的部署に就き先づ福岡縣下の産業と労働を統制する機關の設置を推進し、加盟団体と増進してその合理的行政、経営並に労働組合の平和的建設的改良努力を注ぎ以て陳腐な整備強化し健全なる労働組合に対する社會的信賴を通じて未組織労働者を獲得する方針に沿つて努力する組織を拡大する。更に九州地方協議會は遠く労働立法促進委員會並に日本労働俱樂部の地方的機關として九州労働組合を結成し最も困難なる九州戦線に於て全口比類なき労働組合の戦線統一機關として健全なる労働組合主義の大師を昂揚し日本労働組合會議締成以來は加盟団体の融和親睦統制連絡と密接な連絡として善戦健闘能く極力、極右の輕薄なる徒輩の流行的思想を運動を克服して九州の戦線より取逐し全口で魁けて覇權を握れ、全口の普及の導因となつた福岡縣の労働懇談會に参加しその賞讃的成就を通信し、或は加盟団体の建設的諸事業の社會的信賴の増大に依つて只に一途に健全なる労働組合主義の徹底のためと全力を傾倒して戦つて来た従来の方針と踏襲し、進んでインフレの行詰り起る不況の大京に備へ「家産業の健全なる再建、維持、發展並に労働階級の生活擁護のため加盟団体は愈々戮力協心、日本労働組合會議の地方機關たる責務の完成とその目的達成に勇往邁進するものがある」。

茲に第三回年度大會に當り、現下の我等の主張と素直に宣言し、全口の同志諸君並に一概労働大衆の協力を切望する。

昭和九年十一月二十八日
 日本労働組合會議九州地方協議會第三回年度大會